

社会とともに歩む価値創造の歴史

イントロダクション

価値創造ストーリー

アイダの目指すビジョン

ビジョンを実現する戦略

ガバナンス

財務・会社データ

当社の歴史は、1917年に会田陽啓が東京の本所に会田鉄工所を創業したことに始まります。創業以来100年以上にわたり、社会のニーズや事業環境の変化を的確に捉えることで、競争力のあるプレス機械をはじめとする成形システムやサービスを創出し、お客さまの企業価値を高めるとともに社会課題の解決に貢献してきました。これからもアイダ独自の技術と開発力でこれまでになかった新製品や価値を生み出し、提供することでモノづくり産業を支え、人びとの暮らしと社会の発展に貢献していきます。

時代背景

1900年代～1960年代

近代化と高度経済成長による生活水準向上

- 日露戦争、第一次／第二次世界大戦
- 関東大震災
- 家電元年

1970年代～1990年代

自動化、グローバル化、IT技術の誕生

- グローバル競争激化
- 日本の自動車生産台数が世界1位に飛躍

2000年～

環境問題への社会的注目の高まり

- 気候変動に関する国際的な取り組み
- ハイブリッドカー等の環境配慮型自動車の普及
- 地球温暖化防止京都議定書COP3にて「京都議定書」発効

2010年～

持続可能な社会の実現に向けた環境対応とDX化

- 国連サミットでSDGsが採択
- 働き方改革関連法
- 先進国の高齢化と働き手の減少

生きた価値

プレス機械は輸入機が大きな割合を占めていた当時、数々の国産初のプレス機械を創出し、日本の技術水準向上と工業発展に寄与。

- 戦後のインフラ復興に貢献
- 高度成長期に伴う家電需要の拡大に対応
- 国産自動車生産の普及に貢献

大型化、高速化、稼働率向上等のニーズに対する解決手段を提供。日本の自動車関連業界、家電業界等の生産能力が著しく飛躍し、国際的な競争力強化に貢献。

- 輸出拡大に伴う生産自動化・効率化を推進
- 進化する電機・電子製品の生産技術に貢献
- 自動車の高性能・高度化に寄与

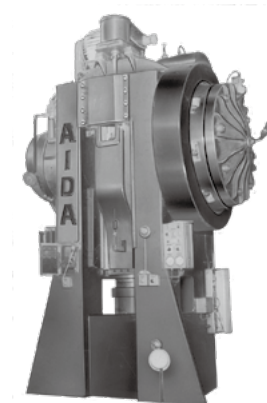
塑性加工技術の新たな時代を拓いた独自開発のサーボプレスや切削加工からの工法転換を実現する精密成形プレス等で画期的な生産技術を創出。

- 安全性能及び環境配慮型の車づくりに寄与
- 世界5極のグローバル生産体制で生産最適化を推進

プレス機械を中心に高度な成形システムを自社で開発・生産することで生産自動化・効率化をさらに促進。新時代のニーズに対応する機種を生み出し、社会課題の解決に寄与。さらにDX・AIを活用した生産サポートも開始。

- お客さまの生産現場や社会全体の環境負荷低減に貢献
- DXによる自動化・省人化のソリューション提供

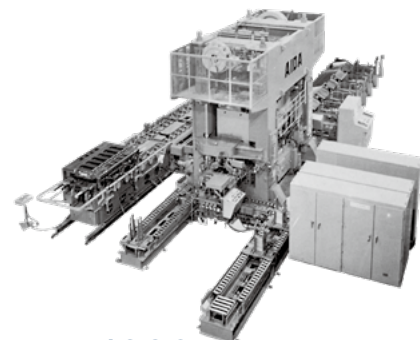
主要プレスによる社会との繋がり



1953

500トンフォーミングプレス

戦後の再建復興に伴うインフラ需要で日本国有鉄道(当時)に納品



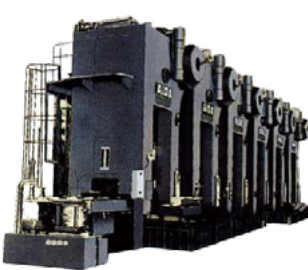
1977

スタンピングセンタシステム・マークIV

世界初のデジタル制御搭載トランスファープレスのスタンピングセンタを開発し、生産の自動化により多品種少量生産の稼働率の飛躍的な向上に貢献

1960
国産初の全自動プレス
300トン

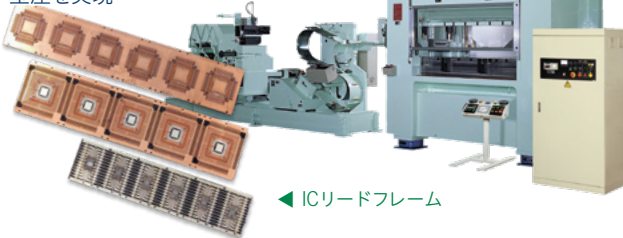
6台のトランスファープレスで国産自動車生産の普及に貢献



1986

高速精密自動プレス
HMXシリーズ

ICリードフレーム等、進化する家電製品に対応する高精度・高速加工の生産を実現



ICリードフレーム

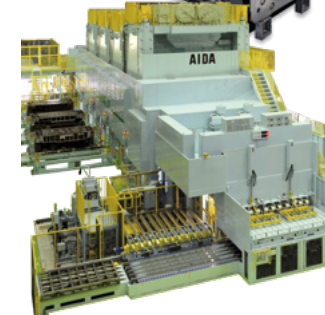


2002

世界初のダイレクト駆動式サーボプレス

減速機を使用せず、モーターとメインギアを直結させたダイレクト駆動により低速・高トルクを実現し、成形性、生産性、操作性、省エネ性を向上

自社開発・製造のサーボモーター

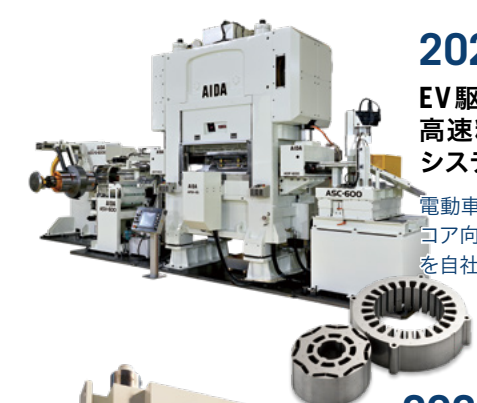


2009

5,700トン大型サーボタンデムライン

軽量かつ強度が高いハイテン材等の難加工材に応じて電圧制御できるダイレクト駆動式サーボプレスで自動車ボディ部品等の軽量化による燃費や強度向上を実現

自動車アウターパネル



2022

EV駆動用モーターコア専用高速精密プレスラインの総合システム

電動車に不可欠な駆動用大型モーターコア向けの高速精密プレスと周辺装置を自社開発し、自動車の電動化に貢献

電気自動車向けモーターコア



2024

燃料電池バイポーラプレート用金属セパレーター成形専用機BEXシリーズ

次世代エネルギーとして期待される水素燃料電池の普及に大きな貢献を見込む

燃料電池向け金属セパレーター

事業拡大の歩み

- 1917 故会田陽啓が「会田鉄工所」を創業
- 1948 モーター生産用高速ノッチングプレス
- 1951 国産初の王冠打抜自動プレス
- 1954 国産初のファスナー爪打抜植込専用機チェーンマシン
- 1967 世界最大級(当時)の2,500トントランスファープレスFT-2500

- 1972 金型及び材料交換を自動化したスタンピングセンタ・システムシリーズ
- 1972 海外初の現地法人をアメリカに設立
- 1984 高速自動リンクモーションプレスPMXシリーズ
- 1985 トランスファープレスTMXシリーズ
- 1995 アメリカ、マレーシアに生産拠点設立

- 2003 中国に生産拠点設立
- 2003 マルチサスペンション高速精密プレスMSPシリーズ
- 2004 イタリアの現地法人を吸収合併し、生産拠点を設立。世界5極の生産体制を確立
- 2004 アルティメート精密成形機ULシリーズ
- 2008 世界最大級(当時)の2,300トン大型サーボプレス

- 2016 プレス間搬送装置D-MAT
- 2016 世界最速級大型サーボプログレッシブプレスDSF-p4-27000
- 2017 現株式会社REJを子会社化、生産設備の自動化・ロボット化を強化
- 2024 EV対応ワイドエリア高速精密プレスMSP-4000-430
- 2024 DX支援システム「AIDAデータアナリティクスシステムAi CARE」サービス開始